

自己評価結果票

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|--|--|--------------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者の個々の出来ること、ペースを見極めながらゆっくりゆっくり楽しく過ごせるよう見守りをしている。 | ○ | 行事があれば回覧していただき、可能であれば参加させていただいている。今後も続けていきたい。 |
| 2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 常に確認出来るようリビングに掲示している。 | ○ | 各個人のペースにあわせて生活が出来るように、言葉かけと支援を行っていききたい。 |
| 3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 買い物や散歩を通じて近隣の人々とは常日頃声かけ、挨拶することによって親近感を持っていただいている。また、近所の人々には自治会を通じて認知度を深めていただけるよう努めている。 | ○ | 特別に機会を設けては無いが、面会時に普段の様子や健康について日勤の職員が対応している。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩時や買い物時、また公園でのゆっくりした時間で、触れ合ったり話をしたりしてグループホームのを努めている。 | ○ | 朝のゴミだしの時など、気軽に近所の方々に挨拶していききたい。 |
| 5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 行事など予定があれば回覧板などで知らせて頂くようにしている。公園の花植えなど地域の方々と関わりを持っている。 | ○ | 散歩の際、ゴミを拾うなどの方法で地域参加をしていきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|------------------------------|---|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 高齢者、要介護者をかかえている家族の相談には親身になって乗っている。 | ○ | 気軽に地域の窓口になれるような環境作りをしていきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義は十分に理解している。その結果をまだまだ生かせていないと思う。 | ○ | 具体的な改善に向けて努力していきたい。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 自治会代表の方々や民生委員の方、又地域包括の方々に現ホームの利用者の状況、問題点などを伝え助言などを | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 9 | ○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 区の地域ケア会議にも参加させていただき、参考にさせていただいている。 | ○ | 今後も各方面に参加していきたい。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 成年後見制度の利用に当たり、支援しているが 全員への周知は出来ていない。 | ○ | 全員で共有できるように努めていきたい。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修に参加し、又その得た情報・知識をミーティングなどの機会に話している。 | ○ | 虐待に関しては、講習会を開いている。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|------------------------|---|---|--------------------------------|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時に十分説明しているつもりだが、まだまだ理解を得ていないこともあるので説明し直すことも多い。 | ○ | 理解しにくいことに関しては繰り返し説明を行い、納得していただくようにしていきたい。 |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ホーム入り口に意見箱を設置し、対応している。 | ○ | 家族来所時には職員の方からも声かけし話しやすい状況作りを心がけている。 |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時には利用者の状況を伝えている。また、夜間やなかなか来所していない家族に関しては電話などにて報告している。 | ○ | ホーム便りを送っている。 |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会はないが、本人を交えたり、また個人に話を聞いたりするよう努めている。 | ○ | 何か伺いたい事があればこちらから電話等で聞いたり、申し送って家人来所時に その日のリーダーが聞く。 |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティングや食事の時間を利用して話し合うようにしている。 | ○ | 意見交換の場をもっと増やしていきたい。 |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 現在は特に不都合はないが、時間帯に不都合があれば早出・遅出などの勤務時間の検討の必要も考えている。 | ○ | 職員採用に勤めている。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|--|---|--------------------------------|---|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職は出来るだけ避けたいが、やむを得ない場合も多く入居者の方々への挨拶はきちんとするようにしている。 | ○ | 一度に多くの退職者が出ることがないように、日頃からスタッフ間の関係に気を配っている。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修参加を促したりしている。 | ○ | 研修への参加の必要性、興味をもってもらえるようにしたい。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他のグループホームの見学や運営推進会議への参加などに取り組んでいるが、まだまだ必要性を感じる。 | ○ | スタッフ皆が、同業者と関わりを持つ機会を探している。 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 月一度のミーティングで職員同士の話し合いを設けている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 各研修情報は知らせ、積極的に参加を促している。また、スキルアップの為に資格取得も勧めている。 | ○ | 仕事への意欲を持てる職場作りの徹底、又、スキルアップの為に色々な場所、研修、資格取得などを積極的にさせていきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|----------------------------------|---|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 見学、入居相談入居希望の提出日より、家族・本人と話し合うようにしている。相談しやすい雰囲気作りに心がけている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 見学、入居相談入居希望の提出日より、家族・本人と話し合うようにしている。相談しやすい雰囲気作りに心がけている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 見学、入居相談入居希望の提出日より、家族・本人と話し合うようにしている。相談しやすい雰囲気作りに心がけている。話の内容により、近隣のえがおの窓口を紹介したり 電話で相談に乗ってもらったりしている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居契約を結ぶ際、お試し期間などを設けて様子を見ることもある。 | ○ | お試し期間については、今後も利用していただく。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている | 一方的に手助けするのではなく、一緒に行ったり会話しながら行うことによってお互いの信頼関係を築いていると思う。 | ○ | 利用者の方々から学んだことを生かせるように努めていきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|-----|--|---|--------------------------------|--------------------------------------|
| 28 | ○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 居室はご本人の生活スペースであり、ご本人の自宅であるため 居室の中の環境整備・衣替え・模様替えなどはご家族の方に協力をお願いしている。 | ○ | 面会にほとんど来られない家族に職員が連絡を取るようになる。 |
| 29 | ○利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 入居時に詳しい情報収集をするようにしているが不十分なところに徐々に情報を得るように努めている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 近所に住んでい利用者に関しては、散歩やドライブなどにて立ち寄るようにしている。遠くの方に関しては家族の協力を勧めている。 | ○ | 認知症悪化防止のためにも家族の協力を得ながら続けていきたい。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 食事以外にも常時リビングにて談話したり、ゲーム、歌会、物作りなどしてみんなで過ごせるよう工夫している。 | ○ | 歌をうたったりすることにより利用者同士のコミュニケーションをとっている。 |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退所後も相談などには電話などにて対応している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) | |
|------------------------------------|--|---|-------------------------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 出来る限り本人の思考に沿うように心がけているが、家族の意向を重要視することも多々ある。 | ○ | 家族、本人を交えての話し合いの機会を増やして理解を深め、出来る限り本人の意思尊重を重視していきたい。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時に情報収集したことを元に日々得た情報を加え、ミニカンファレンスや職員で情報交換を行っている。 | ○ | 日々得た情報に関しては申し送りやスタッフ間での会話にて確認し支援していきたい。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 毎日の生活の中で利用者の健康状態、精神状態を目配り、気配りして注意している。 | ○ | 今後も注意し見守りたい。 |
| 2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | サービス提供者の意向が反映されたケアプランになりがちである。各関係者との話し合いに欠けている。 | ○ | 利用者本人の意向が把握できにくく、利用者本意のケアプランの作成になっていないため 検討・学習が必要。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的に行うようにしているが家族との話し合い、説明は不足している。 | ○ | 介護計画の見直しの場合、家族に会って書面での説明を徹底していきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|---------------------------------|---|--|--------------------------------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の状況などは個別記録に記載している。 | ○ | 要望があればご家族にもカルテを開示しているが、今後も続けていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療面では協力体制が整っているが、いろいろな行事を行うにはフリースペースが狭く 全員が一堂に集うことが難しい現状のため、課題が多い。 | ○ | 歌・トランプ・昔話の読み聞かせ・ビデオ鑑賞など、リビングでも可能なことを行い 楽しみを見つけてもらいたい |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 福祉学校 看護学校の学生さん・高校生の体験ボランティア・有償ボランティアの受け入れをしている。 | ○ | 今後も地域の方々・ボランティアの方々の協力を得て しえんしていきたい。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 自宅へ帰りたい方で 家族の協力・理解が得られた方は地域のケアマネジャーと相談している。ディケアの希望があれば病院に相談をしている。 | ○ | 他の医療機関・サービス機関との良い関係が保てるように努めていきたい。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 認定調査の際 相談できることはさせていただいている。運営推進会議の後 相談することもある。 | ○ | 協働とは言えないので、今後の課題である。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|---|--|--------------------------------|---|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 週1回の往診を通して利用者の症状や状態把握している。 | ○ | 夜間の救急体制については かかりつけ医の指示があれば救急車を利用することになると説明している。かかりつけ医とは今後も信頼関係を保っていきたい。 |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 神経内科、精神科への受診が必要と内科医の指示があれば、また、ホームで必要と判断した場合は家族の了解のもとで受診していただいている。 | ○ | 受診などに関しては問題ないと思われるが入院が必要な場合の協力病院を考える必要がある。 |
| 45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ホーム内に看護師がいるため、常に相談し支持を仰いでいる。往診に来ていただいた病院の看護師とも電話で相談出来るような関係を築いている。 | ○ | 看護師がいなときは 指定病院に電話で伺う。 |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院された場合も可能な限り巡回し、家族との連絡も欠かさないように努めている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ターミナルの時期を迎えた場合は家族と相談し、いつの時期に病院搬送するかなど話し合うよう努めている。 | ○ | 実行している。 |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 特に決めていないが往診時、ミニカンファレンス時などに話し合っている。 | ○ | 勉強会などを行っている。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|-------------------------------------|---|---|--------------------------------|---|
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 次の施設・前の施設からはサマリーを提供交換をしている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報や記録に関してはきちんと保管・管理している。言葉かえ等に関しても相手を傷つけたり不愉快にさせないように努めている。 | ○ | 個人情報の管理は厳密に行っていききたい。また、言葉使いに関しても利用者を思いやり傷つけないように努めていききたい。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | その人に応じて分かりやすい言葉を使ったりゆっくり話したりしている。 | ○ | 常に利用者からの訴えは傾聴している。 |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 出来る限り利用者のペースで生活できるように努めているが、時間に追われたり他事情により介護者ペースになることもある。 | ○ | 自宅におられた生活を元にしてホームでも今まであまり変化のないように生活して頂けるように努める。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 近くの美容院・理髪店へは予約し介助にてお連れしている。また、家族の協力を得たりすることもある。 | ○ | ご本人の訴えによりお連れするようにしている。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|---|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の用意をする際、食器を並べていただいたり配膳・洗い物を一緒にしていただくなど 参加してもらっている。 | ○ | 見守りながら、参加協力していただくように支援していきたい。 |
| 55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 飲酒・喫煙も決まった場所で楽しまれている。おやつも意見を伺いながら、提供している。 | ○ | 喫煙場所には常に職員が灰皿のチェックをするように努めている。 |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 時間的にトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が継続できるように支援している。 | ○ | 今後もADL低下が予想されるが、現状維持が出来るように努めていきたい。 |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人一人の希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 当日の朝 入浴を希望される方には 出来るだけ希望に添うように努めている。不公平感を無くし週間予定を理解していただくために 各人の入浴曜日は決めている。が、柔軟に対応できている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 個人個人の生活リズムで 睡眠・休息がとれている。毎週のシーツ交換も入居者のかたと一緒におこなっている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ラジオ体操は音楽をかけるとし自然と身体が動くまでになっている。 | ○ | 毎日続けていきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|-----------------------|---|---|--------------------------------|-------------------------------------|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 小銭などは個人管理してもらっている。個人管理出来ない人に関しては、ホーム預かりしている場合もあるが、買い物して支払いの際など出来る限り本人に行ってもらおうよう努めている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 歩行困難な人は車椅子を使用して外出している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 家族との外出・食事・旅行などの呼びかけは常に行っている。 | ○ | 今後も積極的に家族と密に連絡を取り協力を得て行っていきたい。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話はホームのものしかないが、利用者の希望のある際はいつでも使用して頂いている。手紙などもポスト投函や切手購入などの援助し円滑に行えるよう努めている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 訪問はいつでも自由にして頂いている。また、本人の居室で過ごして頂いている。 | ○ | 今後も積極的に続けていきたい。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はしていない。 | ○ | 身体拘束に関しての講習会を開くようにする。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) | |
|-----|---|---|-------------------------------------|--|
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関はすぐに公道と面しているため、また、一人で外出困難な方が数名いるため施錠している。居室のドアも本人の希望により鍵はついている所もある。 | ○ | 現状では理解して頂いている。居室の鍵に関して利用者の安心感につながっていると思う。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に個々の所在確認に努め見守っている。夜間に本人に同意をもらい居室巡回している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 危険と感じた物に関しては家族さんと相談し持って帰って頂いている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 施設内でも転倒しそうな利用者に対して常に見守りを行っている。 | ○ | 事故防止には心配り・心配りを怠らず、また、日々の申し送りを利用して常に職員全員が把握出来るように続けていきたい。 |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 訓練はしていないが 提携病院に連絡連絡をし指示を仰ぐ事を職員が把握出来ている。 | ○ | 気になること、分からないことなど月一度のミーティングなどで勉強会を開き 職員一人一人が理解できるようにしていきたい。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防訓練・避難訓練を徹底していくよう努める。 | ○ | 訓練と分かれると真面目に取り組まない利用者もいるため、どういう訓練が必要かを話し合っていきたい。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|---------------------------|--|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 入居時にホームの構造上により転倒などの危険があること、また自由に外出できないことに対するストレスが出ること等に関して説明し家族の協力と理解を得られるように努めている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 職員は入居者の日々の変化に目配りし、異常のある際は早めに提携病院に連絡し受診している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 74 | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の用法、用量の説明書を職員がいつでも確認できる場所に置いている。また、薬の変更などは申し送りなどで詳しく伝えている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 水分摂取を十分に行い、また適度な運動も促している(散歩、ラジオ体操など)。それでも改善されない場合は医師の指示により下剤使用して頂いている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食後の口腔ケアの努めと、週1回の歯科往診にて対応している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリー計算などはしていないが、入居者の状態(入浴時)を常に気にかかけ、月1回の体重測定などによって把握に努めている。水分摂取食事、おやつなどを含め常に声かけを行っている。 | ○ | カロリー計算に関しては一度きちんと計算してみる必要がある。 |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) |
|--------------------------------|---|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症の研修に参加している。 | ○ | 定期的に勉強会を行い、知識共有できるような体勢作りを努めていきたい。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食材をまとめ買いせず、なるべく毎日買い物に行き、新鮮な食材を購入している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 建物入口に花などを飾り、温かい雰囲気作りをしている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | カーテンなどを利用し明るさの調節をしている。また、居間などにおいては、季節に応じた折り紙・貼紙などを表示している。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 館内の標示物 (折り紙・貼物) は常に入居者と共に制作したり、リビングは常に開放し自由に皆と過ごせる空間作りをしている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |

| 項 目 | 事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する | 今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて) | |
|------------------------|---|--|-------------------------------------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時に今まで本人が使用していた物品を持ってきて頂くようにしている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | エアコン調節や窓の開閉をこまめに行っている。 | ○ | 今後も続けていきたい。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 階段などには手すりをつけている。建物内の段差のある所に関しては、入居者が利用する際には常に声かけするようにしている。 | ○ | 今後も常に危険防止に気配り・目配りしていきたい。改善の必要な場所に関しては早めに改善する。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 職員と共に行動・作業することによって混乱などを出来るだけ避けて日常生活を送れるように努めている。 | ○ | 今後も入居者個々の状態を常に把握して見守っていきたい。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 建物の外は道路で、また、ベランダも5階にあるため利用不可能である。 | ○ | 玄関にプランターを置いている為、朝・夕の水やりなどをお願いしている。5階にベランダがあるため利用不可能になっているが、階段の上り下り可能な入居者に対して十分な見守りにてベランダまで行って頂き 職員と共に洗濯物を干したり景色を見て楽しんでもらえるよう実行していきたい。 |

(部分は第三者評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける) |
|------------------|--|---|
| 項 | 目 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

5階建てのマンションで、2階と3階で1ユニット・4階と5階で1ユニット 計2ユニットのグループホームです。ハード面では十分とは言えませんが、介護者は選り抜かれた人材で やさしくしっかりとした介護観を持って皆様に接しています。